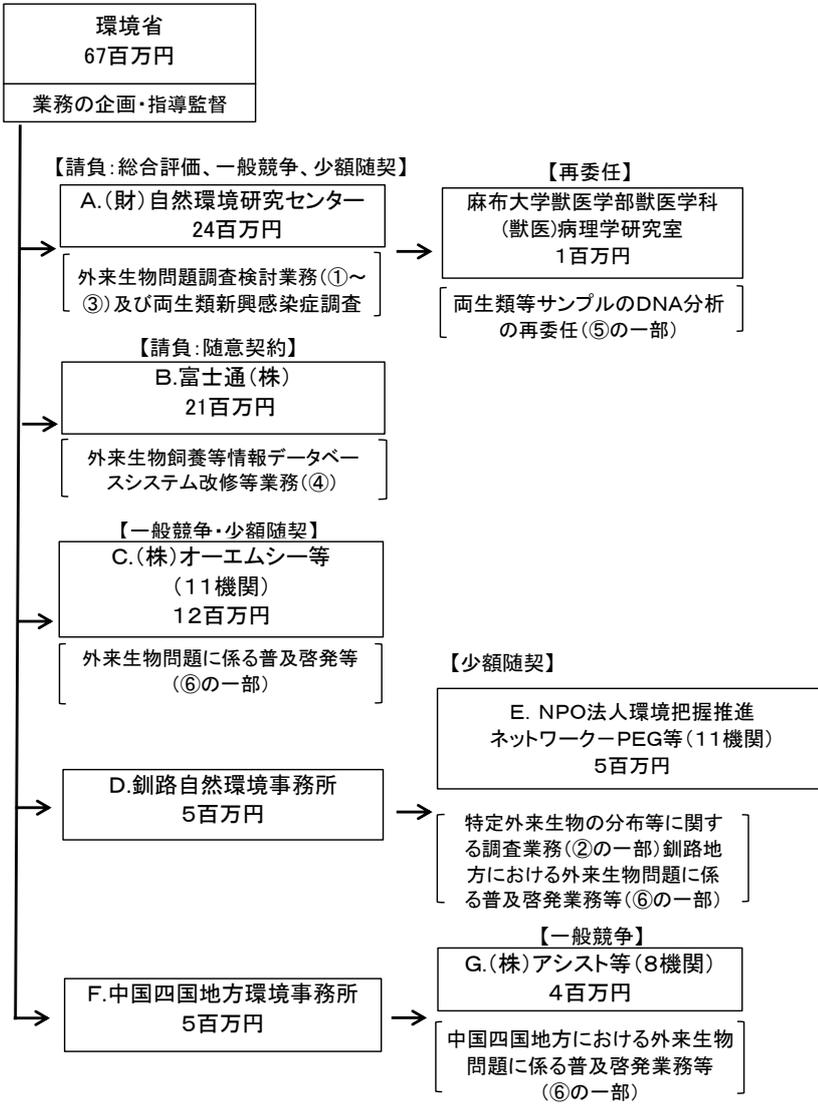


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	外来生物対策費	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度	担当課室	外来生物対策室	室長 牛場 雅己			
会計区分	一般会計	施策名	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律第2条、第5条、第22条、第27条及び第28条	関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010(H22.3.16閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(以下、外来生物法という。)の実効性を確保し、侵略的な外来生物によるわが国の生態系等に係る被害を低減し、新たな被害の発生を防止する。また、国内におけるカエルツボカビ等両生類への感染症の実態を把握することにより、在来の両生類の効果的な保全措置の検討する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①外来生物法に基づき指定されている未判定外来生物に係る輸入の届出を踏まえた、特定外来生物等への選定(アノリス属3種)、②外来生物全般に係る侵入・生態及び流通実態等の調査・整理(水際における定点モニタリング調査等を含む)、③外来生物法施行状況検討作業(情報収集、計4回の検討会の開催及びその結果とりまとめ)、④外来生物法関連業務に必要な省内専用の「外来生物飼養等情報データベースシステム」の保守点検・運用、⑤ラナウイルス等の両生類新興感染症に係る実態把握及び情報提供、⑥外来生物問題に係る普及啓発のためのリーフレット等の作成、国際会議CBD-COP10のサイドイベント開催及び認知度調査等。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	88	55	85	59	57
		補正予算	-8	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	80	55	85	59	57	
執行額	65	43	67				
執行率(%)	81	78	79				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	未判定外来生物の輸入の届出数や特定外来生物等の同定依頼件数、種類名証明書の回収数等の外部要因に応じて、本事業の内容(分量)は決まるため、成果目標を予め設定して行う業務ではない。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	○外来生物問題調査検討業務関係 ・外来生物の同定件数:港湾や野外で発見された特定外来生物と疑われた生物等について、外部からの依頼に応じて同定を行った件数。 ・外来生物現地調査回数:貨物等に紛れて非意図的に導入されるなどにより特定外来生物が侵入・定着するおそれが特に高い地点等を中心に行った、現地調査の回数。 ・法施行状況検討会回数:外来生物法の施行状況の検討作業に助言を与える専門家等の会合の開催回数。 ○外来生物飼養等情報データベースシステム改修業務関係 ・外来DBS改修作業量:外来生物飼養等情報データベースシステム(外来DBS)の改修作業に要した作業量。 ○両生類新興感染症調査業務関係 ・両生類現地調査回数:ラナウイルスの感染状況を把握するための池沼等における現地調査の回数。 ○ワークショップ等イベント開催回数 ・国際会議CBD-COP10のサイドイベントとしてのワークショップ等の、平成22年度に行ったイベントの開催回数。	同定件数	18	21	29	—	
		外来生物現地調査回数(人日)	—	(20)	(30)	(30)	
		法施行状況検討会回数	—	—	4	—	
		外来DBS改修規模(ステップ数)	64,219	6,141	15,939	—	
		両生類現地調査回数(人日)	—	—	18	—	
		ワークショップ等イベント開催回数	—	—	7	—	
単位当たりコスト	各活動実績については、その他の業務とまとめて契約し業務執行をしており、実績毎に費用を分割して算出することは困難であるため、単位当たりコストは示していない。						
平成23・24年度 予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由		
	諸謝金		0.9	0.4	新興感染症に関する検討については平成24年度は計上を見送り。人件費等の見直しによる減。		
	委員等旅費		0.7	0.3			
	鳥獣等保護費		57	56			
計		59	57				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・不用理由:未判定外来生物の輸入の届出数や特定外来生物等の同定依頼件数、種類名証明書の回収数等の外部要因に応じて、本事業の内容(分量)は大きく異なる。平成22年度は、未判定外来生物輸入届出数が1件に留まった等により、部分的に執行残が出たほか、低価格入札による入札残等により、不用額が発生した。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・CBD-COP10サイドイベントとしてのワークショップは、CBD事務局公認のサイドイベントの中として、注目を浴び、国内マスコミに取り上げられるとともに、高く評価された。 ・平成22年度に作成された業務報告や調査報告書等は、原則として全て環境省ウェブページに掲載し公開しており、誰でもこれらの成果を活用できるようになっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	未だ外来生物問題に関する国民全般の理解が十分に進んでいるとは言えない一方、外来生物の侵入や定着、分布の拡大は引き続き起きている。その影響力は強く、長期的には増大する方向で推移している旨が、生物多様性総合評価報告書(平成22年5月)の中でも指摘されている。このため、規制対象となる特定外来生物の指定や調査等の対策を引き続き展開していく必要がある。従って、業務自体を縮小・廃止することはできないものの、引き続き極力競争性のある契約を実施すると共に、事業の進捗状況を随時把握し、業務の効率化に努めるものとする。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	長期に渡り継続して実施していることから、効果的な事業実施に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	新興感染症に関する検討については平成24年度は計上を見送り。また、会合・調査回数及び人件費等の見直しにより概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※数字はいずれも四捨五入方式で記載しており、四捨五入で1百万円に満たない支出先の記載は省略している。

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(財)自然環境研究センター			E.NPO法人環境把握推進ネットワークPEG等(11機関)		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	雑役務費	外来生物問題調査検討業務	20	雑役務費	特定外来生物の分布等に関する調査業務	2
	雑役務費	両生類新興感染症調査業務	3			
	計		24	計		5
	B.富士通(株)			F.中国四国地方環境事務所		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	雑役務費	外来生物飼養等情報データベースシステム改修等業務	21	雑役務費	外来生物対策普及啓発キャラバン事業等	5
	計		21	計		5
	C.(株)オーエムシー等(11機関)			G.(株)アシスト等(8機関)		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	雑役務費	生物多様性条約COP10関連外来種防除促進実施業務	4	雑役務費	外来生物対策普及啓発キャラバン事業	4
	雑役務費	外来生物問題普及啓発リーフレット等の印刷	3			
	雑役務費	外来生物問題普及啓発用ツール作成業務	3			
	計		12	計		4
	D.釧路自然環境事務所			H.		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	雑役務費	外来生物防除推進セミナー実施事業等	5			
	計		5			

支出先上位10者リスト

A					
	支出先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	外来生物問題調査検討業務	20	1	81
		未判定外来生物による被害可能性に係る判定の支援業務	1	随意契約	-
		両生類の新興感染症実態調査業務	3	2	43

支出先上位10者リスト

B					
	支出先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	外来生物飼養等情報データベースシステム改修等業務	21	随意契約	-

支出先上位10者リスト

C					
	支出先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	生物多様性条約COP10関連外来種防除促進実施業務	4	3	27
2	(株)五月商会	外来生物問題普及啓発リーフレット等の印刷	3	随意契約	-
3	(株)アドサービス	外来生物問題普及啓発用ツール作成業務	3	随意契約	-
4	エヌ・ティ・ティ・レゾナント株式会社	外来生物問題等認知度調査業務	0.7	随意契約	-
5	(有)自然情報事務所	外来生物問題普及啓発リーフレット等の印刷	0.6	随意契約	-
6	WWFジャパン	外来生物問題普及啓発用ツール作成業務	0.5	随意契約	-
7	(株)アートツーリスト	国際会合への専門家派遣支援業務(生物多様性条約事務局開催の侵略的外来種に係るアドホック会合)	0.5	随意契約	-
8	サンレオール	外来生物問題普及啓発用ツール作成業務	0.2	随意契約	-
9	(有)松岡商事	外来生物問題普及啓発用ツール作成業務	0.01	随意契約	-
10	SAPIX小学部	生物多様性普及啓発用ツール購入	0.002	随意契約	-

支出先上位10者リスト

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	釧路自然環境事務所	外来生物防除推進セミナー実施事業等	5	-	-

支出先上位10者リスト

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人環境把握推進 ネットワークPEG	特定外来生物の分布等に関する調査業務	2	随意契約	-
2	(株)ズコーシャ	特定外来生物の駆除試験調査業務	1	随意契約	-
3	(株)ティーエーシー	外来生物問題普及啓発用ツール作成業務	1	随意契約	-
4	環境コンサルタント(株)	外来生物問題普及啓発イベント実施業務(防除活動発表会開催)	0.7	随意契約	-
5	(株)別海町観光開発公社	外来生物問題普及啓発イベント実施業務(防除推進セミナー開催)	0.3	随意契約	-
6	(有)麻里府商事	外来生物調査器材購入(自動撮影カメラ)	0.3	随意契約	-
7	(株)ノヴェロ釧路支社	外来生物問題普及啓発用ツール(防除関係DVD、リーフレット等)複製、印刷業務	0.2	随意契約	-
8	阿寒バス(株)	バス借り上げ	0.06	随意契約	-
9	(株)レンタルクシロ	外来生物問題普及啓発イベント(防除活動発表会)用ツールのレンタル	0.03	随意契約	-
10	安藤印刷(株)	外来生物調査器材購入(自動撮影カメラ用電池等)	0.03	随意契約	-

支出先上位10者リスト

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中国四国地方環境事務所	外来生物対策普及啓発キャラバン事業等	5	-	-

支出先上位10者リスト

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アシスト	中国四国地方における特定外来生物等に係る普及啓発等業務	4	3	65
2	株式会社広進社印刷	特定外来生物普及啓発用メモ帳(ばらメモ)作成	0.4	随意契約	-
3	日本アート印刷株式会社	特定外来生物普及啓発用パンフレット増刷	0.2	随意契約	-
4	株式会社コバックス関西	標本保護等用アクリルケース購入	0.07	随意契約	-
5	株式会社サンエス事務機	展示用パネルB1サイズ購入	0.04	随意契約	-
6	株式会社NPCサプライ	展示用パネル印刷	0.03	随意契約	-
7	山陽文具株式会社	展示物梱包用資材購入	0.01	随意契約	-
8	有限会社オフィス山陽	ダンシート(資材搬送時保護用)、折り紙購入	0.01	随意契約	-